

## 第3次上尾市環境基本計画【改定版】案への市民のご意見と市の考え方

◇意見募集期間 令和7年11月7日（金）～令和7年12月8日（月）

◇意見応募結果 応募者数5名 意見数21件

No.	ページ	項目	ご意見	市の考え方
1	12、 52、 56	P12 ●総合評価2 ポツ目 P52 成果指標（緑地面積） P56 実行施策	<p>緑の公有地化や保存樹木等の所有者へ奨励金の支払い等を実施したとありますが、それでも緑地面積・緑地率が減少しているのであれば、経済原理や現在の税法などにより、今後も緑地面積・緑地率は減少し続けるのではないのでしょうか。加えて実行施策も継続のみであるとすれば、目標を達成できない状況が続くだけになるように思います。</p> <p>現状値が下がっている指標については、これまで達成できていなかった理由を検討し、2030年度の目標値（緑地面積 1,316.04ha など）を達成できるための取組を進めてほしいです。</p>	<p>緑地面積・緑地率の減少については、相続発生による保存樹林等の所有者と市との契約解除などが要因として挙げられます。こうしたことから、緑地率維持の新たな取り組みとして、令和6年度に生産緑地の追加指定を実施いたしました。頂いたご意見も参考に、今後の取り組みについて検討してまいります。</p>
2	14	●総合評価5ポツ目	<p>市民一人当たりの公園面積はおおむね達成しているとしていますが、私が住む原市エリアでは基本的に公園には人気（ひとけ）がなく、保育園児がたまに遊んでいるだけです。市民が憩う場所になるように改善してほしいです。また、丸山公園など、上尾駅よりも西側に魅力のある公園が集中しています。遊具を更新するなど、偏りを改善してほしいです。</p>	<p>頂いたご意見も参考にしながら、上尾市公園施設維持管理更新計画に基づき、魅力ある公園の整備・改善に取り組んでまいります。</p>
3	14	●総合評価7ポツ目	<p>環境美化について、「ポイ捨て」や「路上喫煙」に対する市の条例があることを知りませんでした。市民に周知するとともに、マイ吸い殻入れ、マイごみ袋のお持ち歩きを呼びかけてほしいです。</p> <p>また、ゴミを拾う意義についても市民に啓蒙してほしいです。海外では治安が悪い地域ほど街にゴミが多く、民度の高さを示すバロメーターとなっていますし、ゴミが少ないきれいな街並みは犯罪を防ぐこともできるそうです。</p>	<p>市では、「クリーン上尾運動」として地域に居住されている市民の方による清掃活動を実施しております。また、市内小中学生から「環境美化・環境保全啓発ポスター」を募集し、若年層への啓発を行っております。頂いたご意見も参考に、引き続き、市民の皆様への周知啓発に取り組んでまいります。</p>

4	1 4	●総合評価 8 ポツ目	<p>「まちなみの美しさ」の満足度点は向上している、としていますが、私は原市エリアの街路樹の手入れには不満があります。木は葉が落ちないように徹底的に切られてしまっていて死んだような状態ですし、植え込みは剪定作業の度に極端な強剪定で短くされて、ほとんど枯れかかっている場所もあります。植え込み部分の雑草は刈らずに根から徹底的に抜かれて、土がやせてしまって砂場のようになってしまっています。専門家に意見を仰ぐなどして自然の循環に配慮した剪定方法に変更してほしいです。</p>	<p>市内の街路樹の多くが、植樹してからかなりの年数を経過しており、その維持管理においては多様な課題もあることから、頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
5	1 5	●総合評価 2 ポツ目	<p>「マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用」は増えているとしていますが、私は神奈川県からの転入者ですが、個人的な感触として、大人のペットボトル飲料の利用が非常に多く、マイボトルを持ち歩いている人が少ない印象です。私の周りでは節約を気にしている主婦やお年寄りの方もペットボトルでお茶を買ったりしている人が多いです。各所に「マイボトルの利用」のステッカーやポスターを掲示したり、自動販売機の設置を減らすなど対策を講じてほしいです。</p>	<p>上尾駅コンコースや市内中学校、イオンモール上尾で開催した環境推進大会において、「マイバッグ・マイボトル・マイ箸」についてのパネル展示を実施しました。また、出前講座等でも「マイバッグ・マイボトル・マイ箸」の持参について呼び掛けしております。頂いたご意見につきましては今後の参考とし、引き続き周知啓発に取り組んでまいります。</p>
6	1 6	●計画指標	<p>3つの計画指標項目の評価結果について。R3年度の間評価では実績値が目標値に達していませんが、評価結果が×ではなく△とされているのはなぜでしょうか。</p> <p>●総合評価の1ポツ目にあるように「目標値に近づいている」からかもしれませんが、他指標の評価は未達の場合、×となっているため違和感を覚えます。評価結果はこのままでもよいのですが、○△×の設定基準等を、注釈などで説明していただけるとより理解しやすいかと思えます。</p>	<p>中間評価の評価結果については、目標値を達成できたものを「○」、目標値は達成できなかったが基準値より値が向上したものを「△」、目標値を達成できず、基準値よりも悪化したものを「×」としています。ご意見のとおり、注釈を追記します。</p>

7	24	環境目標1「緑と水が身近で豊かなまち」	<p>上尾には丸山公園や貴重な動植物が生息する保全地など、誇れる自然がありますが、全体的には宅地化が進み、近隣の農地や樹木が減少していることを感じます。自然を身近にするのであれば、公園などまとまった緑・水辺を単体で保全するだけでなく、街路樹、河川、農地、屋敷林などを連続してつなげる、まち全体での緑のネットワークづくりも進めてほしいです。暑さ緩和や景観の向上、ネイチャーポジティブの実現にも役立つのではないかと思います。</p>	<p>荒川、江川、原市沼川、綾瀬川といった主要河川や周辺の沼地・湿地、「ふるさとの緑の景観地」に指定されている樹林地や周辺の農地・湿地は、多様な動植物の生息地であり、水害時の遊水機能を有していることから、今後も一体的に保全・活用してまいります。</p>
8	25	環境目標4「脱炭素な暮らしを営むまち」【令和12(2030)年の将来イメージ】	<p>断熱の導入について記載がありますが、近年の猛暑による健康被害を考えると、断熱は次の「環境目標5 気候変動に適應するまち」にも有効な取組だと思えます。健康や福祉の面でも効果がある取組ということが分かりやすいように、適応策の中にも断熱の取組を含めてはどうでしょうか。</p>	<p>住宅等の断熱は、省エネにつながる面と屋内における熱中症リスクの低減効果もあると考えられます。本計画（案）においては建築物の省エネルギー化の促進にかかるものとして表記することとしますが、施策を実施する上では住宅等の断熱が、気候変動対策にもつながると周知する等、一体となって取り組みます。</p>
9	36	「2-3 再生可能エネルギー導入目標」の本文の3～6行目まで	<p>再生可能エネルギーの導入目標達成のために、太陽光発電は導入せず、ぜひ小規模水力発電の導入をお願いします。やむを得ず太陽光発電も導入する場合、太陽光発電の量はできる限り少なくし、人家から離れた広い土地（荒川沿いの土地等）に太陽光発電設備をまとめて設置し、発生する電磁波やモスキート音が敷地から漏れないよう、また太陽光パネルが風で飛ばされないよう厳重に管理し、設備の安全な処分方法を見つけてから採用して頂きたいです。</p> <p>&lt;太陽光発電が適切ではない理由&gt;</p> <p>①設置費用が高い。 設置費用の回収に年数がかかり、費用回収が終わったところに老朽化で使用できなくなると聞く。</p> <p>②発電量が天候に左右される。</p>	<p>太陽光発電設備は、再生可能エネルギーの中では、家庭においても導入が可能な電源です。</p> <p>上尾市の再生可能エネルギーの導入ポテンシャルは、太陽光発電が99%を占めます。</p> <p>脱炭素のためには小水力発電を含めた様々な再生エネルギーについて検討する必要があると思いますが、上記のとおり太陽光発電設備以外の導入可能性は限定的ですので、本計画（案）へ記載するのは困難です。</p> <p>しかしながら、太陽光発電設備に関するメリット又はデメリットについては、正確な情報の把握に努め、情報発信に努めてまいります。</p>

③設置できる屋根の条件が厳しい。  
一般的には、南向きで傾斜角度が 30 度程度の屋根が最適とされているが、実際には多くの家ではこの条件を満たしていない。

④夜には発電できない。

⑤反射光トラブルの可能性。

⑥定期的メンテナンスが必要で、手間と費用がかかる。

⑦機材の重さによる住宅ダメージ。

⑧パワーコンディショナーからモスキート音が発生し、騒音トラブルが起きる。

⑨家庭や事業所に設置された太陽光発電設備は、台風や豪雨などによって浸水したり破損したりすることがある。太陽光発電設備は、浸水したり破損したりしても光が当たれば発電することがあり、むやみに近づいたり触ったりすると感電することがある。また、モジュール（太陽光パネル）によっては鉛やセレン、カドミウムなどの有害物質が使われている場合があり、破損の状況によっては有害物質が流出する恐れもある。※  
また、設備の老朽化による破損等によっても有害物質の流失の危険がある。

※宝塚市ウェブサイト「災害で壊れた太陽光パネルは危険です。使用済み太陽光パネルは適切に処理してください。」  
<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/1060685/1060714/1061609/energy/1014263/1045616.html>

⑩環境ジャーナリストの加藤やすこ氏によると、太陽光発電が小規模であっても有害なのは明らかである。太陽光発電は健康、環境に深刻なダメージを与える可能性がある。太陽光発電による再エネに必要な金属資源は近い将来、枯渇するこ

とが予測されている。さらに金属採掘に伴う人権侵害、放射性物質の漏洩と環境破壊、それに伴う健康被害が起きている。太陽光発電パネルには有害重金属が含まれているのでリサイクルは困難で、最終処分場でも受け入れを拒否されることが少なくない。

資料1：いのち環境ネットワーク「アース通信86号」のP10～12

資料2：学術集会予稿「風力発電と太陽光発電の電磁波問題」  
加藤やすこ

⑪太陽光発電設備の設置された住宅や事務所で電磁波過敏症を発症して、微量な電磁波によっても頭痛、めまい、呼吸困難、動悸、吐き気、耳鳴り、聴覚過敏症等様々な症状が出るようになり、携帯や家電が使えなくなる、自宅のプレーカーを切って生活する、教室でWi-Fiを切ってもらい、退学や退職や転居を余儀なくされる等の事例が増えている。また、田畑の広い跡地に大量の太陽光パネルを設置する事例が増えているが、パネル近くの住民も電磁波過敏症を発症し、上記と同様の被害を受ける事例が増えている（空き地に大量のパネルが設置され、近隣の子どもが鼻血が止まらなくなった事例もある）。

日本臨床環境医学会・環境過敏症分科会及び日本室内環境学会・環境過敏症分科会が「子どもの香害及び環境過敏症状に関する全国調査」を実施しており、上尾市教育委員会様も調査にご協力頂いたが、その調査票にも電磁波過敏症状に関する質問事項が設置されている。

<小規模水力発電が適切である理由>

I.「中小水力発電の導入推進に向けた手引き ～中小水力発電事業の新規参入を検討している人のために～ 2024年2

		<p>月 経済産業省 資源エネルギー庁」より          中小水力発電のメリット</p> <p>①太陽光発電や風力発電と比べて天候に左右されにくく、設備利用率が高い（太陽光の3～4倍程度）</p> <p>②設置後、適切に管理すれば非常に長く使える（太陽光発電：25年程度、中小水力発電：60年程度）</p> <p>③大規模なダムが不要なため自然影響が小さい</p> <p>④くらしと結びつきが強く地域社会で主体性が発揮しやすい（地域事業者の建設技術で対応可能）</p> <p>⑤発電所の建設・維持管理を通じて地域活性化・雇用創出に貢献可能・電源が存在することにより、山林や河川、水路の管理が行き届き、安全面や里山保全等の相乗効果が得られる</p> <p>Ⅱ.「ウィキペディアの小水力発電」より</p> <p>①ダムも大規模な水源も必要とせず、小さな水流であっても比較的簡単な工事をするだけで発電できる。このため、山間地、トンネル内からの湧水、中小河川、農業用水路、上下水道施設、ビル施設、家庭などにおける発電も可能である。</p> <p>②水力発電は過去100年以上の長い歴史を有しているために、技術上の課題はほぼ解決されており、自然環境への負荷が少なく、比較的少ない出費から行うことができる。ヨーロッパなどでは、水車で粉を挽いていた水車小屋が水力発電所に作り変えられたり、水車づくりのノウハウがある地域では水力発電装置の制作に活かすことができる。</p> <p>③小水力発電は、水流のある場所であれば設置が可能であるため、エネルギーの回収にも利用できる。マイクロ水力やピコ水力など発電量の小さいものだと、工場・高層ビル・病院等には、張り巡らされた空調・用水・排水の高低差のある配管を利用し、その落下する水流によって羽根車を回転させ発電を行うことで、電力としてエネルギーを回収することも出</p>	
--	--	---	--

来る。2014年現在、日本では1設備あたり9kWの能力のあるビル施設内での発電設備が実用化されている。未開発の小水力発電の出力は約660万kW分あり、原発1基の出力を100万kWとすると原発6.6基分の出力が見込めることになる。

④小水力発電の大きな特徴は設置場所にある。装置が比較的小さいため、ある程度の水量さえあれば設置が可能である。また、重さわずか約13kgで、人が肩にかけて持ち運ぶことが可能な水力発電装置も開発・販売されている。

設置場所としては次のような場所がある。

- 農業用水路
- 砂防堰堤
- 浄水場
- 下水処理場
- 工場用水 - 生産過程で水を多く使用する製鉄、製紙、化学品、薬品、飲料などの工場で使われる工業用水道や地下水。
- 工場排水
- 高層建築物（エネルギー回収システムとして）

上記以外にも、様々な場所に設置が可能である。山間部の傾斜地の側溝等の水が豊富に流れている場所でも、適した発電装置を選べば設置可能。また生活排水の洗浄水で発電する製品も実用化されている。

※ご参照：

●中小水力発電の導入推進に向けた手引き ～中小水力発電事業の新規参入を検討している人のために～ 2024年2月  
経済産業省 資源エネルギー庁

[https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saiene/data/](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/data/)

			<p>202402_water_tebiki.pdf</p> <p>●ウィキペディアの小水力発電</p> <p><a href="https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%8F%E6%B0%B4%E5%8A%9B%E7%99%BA%E9%9B%BB">https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%8F%E6%B0%B4%E5%8A%9B%E7%99%BA%E9%9B%BB</a></p> <p>追伸：本件についてアドバイスを頂戴した加藤やすこ氏から、彼女の著作である「再生可能エネルギーの問題点」(緑風出版) (ISBN-10: 4846122077) をご紹介頂き、御課及び関係部署の皆様でぜひお読み頂きますれば幸いです。</p> <p>私も取り寄せ中です。</p>	
10	36	再生可能エネルギー導入目標(中間目標、長期目標)	<p>太陽光発電設備容量や導入に必要な住宅棟割合の記載があり、目標が具体的でイメージしやすいと思いました。</p> <p>ただ中間目標では kW、長期目標は倍数の記載であることに理由はあるのでしょうか。両目標とも、kW と倍数を併記したほうがより分かりやすくなるのではないかと思います。</p>	<p>目標値については、36 ページ下表において比較できるように倍数表示も含めて記載しております。</p> <p>長期目標の倍数表示は、基準年度に対する規模感を記載したものととなります。</p>
11	43~48	「2. 気候の変化と将来予測」	<p>特に、再大注目されているニュースで地球全体に亘る温暖化現象の深刻化がますます悪化されるのではないかと予測されると思います。それは、真夏の猛暑による水不足や早魘(かんばつ)に伴う野菜や果物及び米栽培の深刻な不測の影響に因り、更に不景気の物価高騰がますます消費者にとっての経費の膨大な増加がとて過酷であると十分認識できたからです。それは、降水量の大幅な減少に因る恵みの多量の雨が永遠に降らない状態が続き、又、真冬の多量の大雪が降らない状態などがあり、山間部の利根川水系のダム貯水量の水位の大幅な低下に伴う水不足で異常な渇水注意報がますます深刻化されるからだだと思います。</p>	<p>地球温暖化の深刻な影響に対する警鐘として参考にさせていただきます。</p>

12	56	施策の方針<2>緑・水辺の保全	<p>緑のトラストである原市の森をもっと保全してほしいです。かれそうな木を切るだけでなく、専門家に意見してもらうなどして保全活動をしてほしいです。</p> <p>また丸山公園以外の場所でも自然観察会を開いてほしいです。</p> <p>団地や、寺社仏閣も重要な緑だと思います。何らかの形で保全の支援をしてほしいです。</p>	<p>緑地の保全について、上尾市環境推進協議会等による環境保全活動が実施できないか検討してまいります。また、自然観察会については、昨年度は鴨川沿岸で開催しており、今後も開催場所について適宜検討してまいります。</p>
13	67	実行施策	<p>子育てや介護など、ライフステージによって必要な物品は、リユースできる仕組みを作れるように市の方で支援する施策を打ってほしいです。</p> <p>特に、小中学校の学用品は個人で購入するものを減らし、学校の備品として管理できるものを増やしてほしいです。</p> <p>また、入学前に学校側から購入するように言われて買っても、幼稚園の卒園祝いやら子ども会、その他色々な団体から入学お祝いで色々なものが配られて、家庭で購入したものと重なって困ったものもあります。</p>	<p>ご意見については参考として承り、関係部署へ申し伝えます。</p>
14	70	「4-3 目標達成に向けた市民の取組例」下から2つ目のポツ	<p>「住宅の新築や改築を行う場合や賃貸住宅を選ぶ際は、省エネルギー性能の高い住宅、断熱性に優れた住宅の選択に努めます。」とありますが、現状選択するための情報などが少なく、個人で取組むのは難しいように感じます。市民がこの取組を進めやすいよう、市も支援していただきたいです。(情報整備やワークショップの開催など?)</p>	<p>本計画(案)において、脱炭素に配慮した建築物に関して情報発信することとしております。</p> <p>頂いたご意見は、参考とさせていただきます。</p>

15	71	<p>実行施策②「家庭や事業所における CO2 削減を図るため、省エネ機器（高効率空調・燃料電池等）」</p>	<p>【ご提案内容】併記のご提案 家庭や事業所における CO2 削減を図るため、省エネ機器（高効率空調・燃料電池（例：エネファーム等））</p> <p>【理由】 市民や事業者に分かりやすく周知する観点から、「燃料電池」だけでなく周知度の高い呼称を併記することをご検討願います。ただし、「エネファーム」は登録商標であるため、表記は「燃料電池（例：エネファーム等）」や「燃料電池（家庭用コージェネ例：エネファーム等）」のように、商標である旨に配慮した形が望ましいと考えます。こうした併記により、導入候補としての理解促進や補助制度の活用が円滑になると期待します。</p> <p>【補足】 エネファーム（ENE・FARM）は、家庭用燃料電池コージェネレーションシステムのアピール。2008年（平成20年）6月25日に燃料電池実用化推進協議会（FCCJ）が家庭用燃料電池の認知度向上を推進する取り組みとして、企業にまたがる統一名称として決定、普及を進めています。</p>	<p>エネファームは、広く知られた登録商標ですが、「燃料電池」の表記について分かりづらいとの声は現在のところ確認されていないため、ご意見は参考とさせていただきます。</p>
16	73	<p>施策⑬「再生可能エネルギーの利用の促進」 ヒートポンプの記述について</p>	<p>【ご提案内容】 ヒートポンプは外気・地中・水等から熱を移送して利用する高効率の省エネルギー機器であり、その機能や評価指標は発電を行う再生可能エネルギー（太陽光・風力等）とは異なります。供給構造高度化法、温対法、省エネ法等の趣旨を踏まえ、補助金の運用や CO2 削減効果の算定等で混同が生じないように、ヒートポンプは基本的に『省エネ機器』として区分して取り扱うことをご検討願います。</p> <p>なお、地中熱等の自然熱を直接利用する特殊事例については、その特性を踏まえて別途取り扱いを検討いただくことを</p>	<p>ヒートポンプは、省エネの効果があります。</p> <p>一方で、ヒートポンプに利用する大気熱や地中熱等は太陽エネルギー由来であること、欧州においても再生可能エネルギー利用技術と位置づけられていることなどから、本計画（案）においては再エネ機器として取扱いま</p>

推奨します。

【補足】※実務上の効果

上記区分により、補助要件や CO2 算定の基準（省エネ効果は機器効率で評価、再エネは発電量ベースで評価）を明確に使い分けられます。

結果として、市民・事業者への周知が分かりやすくなり、補助実務や評価の誤解・不整合を防げます。

上尾市としての再エネ促進・省エネ推進の双方が、より実効的かつ整合的に進められると考えます。

【法的根拠・理由（要点）】

■供給構造高度化法（エネルギー供給構造高度化法）

本法は再エネ導入と効率的な利用の両面を扱いますが、再エネは基本的に「発電設備」を念頭に置く枠組みです。

ヒートポンプは電力を使って熱を移送する「熱利用機器」であり、再エネ（発電）と同列に扱うと制度の趣旨と整合しにくくなります。

■温対法（地球温暖化対策の推進に関する法律）

温対法は排出量の算定や削減対策の枠組みを示しており、再エネ導入（発電量ベース）を省エネ導入（機器効率ベース）では評価方法が異なります。

ヒートポンプは COP 等による省エネ評価が適切であり、両者を混同すると算定基準や評価指標に齟齬が生じる懸念があります。

■省エネ法（エネルギーの利用の合理化等に関する法律）

省エネ法は設備・機器の高効率化を促進する法律で、ヒートポンプは同法の趣旨に沿う「高効率機器」として扱うのが自然です。

機器としての明確な位置付けにより、補助設計や普及施策の運用が分かりやすくなります。

17	75	実行施策⑥	<p>バスの利用を促進するために、交通量などを調査したり、自家用車の利用状況などを調査して、どんな時に車を利用しているのか、実態を詳しく把握して、公共交通の利用に切り替えられるように市民を支援してほしいです。</p> <p>例えば、私の住む原市エリアは、主要な通りでも車中心の街燈の配置になっているため、歩行者や自転車が夜通るのは危なく、車の送り迎えが多くなることなどが考えられます。歩きやすい環境づくりも必要だと思います。</p>	<p>R7.4.1 より、市内循環バス「ぐるっとくん」のダイヤ改正を行ったことから、影響を注視しつつ利用者の利便性が向上するよう、引き続きバス会社との調整に取り組んでまいります。</p> <p>また、歩行者の安全対策として、歩道の縁石に反射板を設置し車両が歩道を視認しやすいよう対策を行っているほか、道路の損傷については日々の職員パトロールや、通報等により認識した箇所について、その都度対応するなど、道路環境の改善に努めております。</p>
18	78	施策⑱「日常生活への影響対策の推進」実行施策⑧	<p>クーリングシェルターの開設は賛成ですが、シェルター(=避難場所)に行かなくてもよい環境づくりも大切ではないでしょうか。そのため住宅の断熱化など、普段長時間生活する空間での対策も強化してほしいです。</p>	<p>住宅等の断熱は、省エネにつながる面と屋内における熱中症リスクの低減効果もあると考えられます。本計画(案)においては建築物の省エネルギー化の促進にかかるものとして表記することとしますが、施策を実施する上では住宅等の断熱が、気候変動対策にもつながると周知する等、一体となって取り組みます。</p>
19	80	環境目標6「みんなが環境行動を実践するまち」「6-2 成果指標」	<p>イベントの実施数や参加数などの行動実績ではなく、「環境を良くするために 取り組みたい人の割合」とされているのはなぜでしょうか。意欲があっても、実際に行動がされない場合もあると思い、この指標を成果とすることに違和感を覚えます。(行動実績である p.82 の事業活動指標が改善された結果、意欲が増えるという考え方でしょうか)</p>	<p>環境活動へ参加してもらうためには、まず初めに、市民の皆様が環境を良くするための意欲を持っていただく必要があると考えたことから、今回の指標を採用いたしました。</p>
20	全般	全体	<p>環境が改善されているかのデータが前年度の上尾市の状況では視野が狭すぎると思います。もう少し実態を正しく把握できるデータも参考にしてほしいです。上尾市のゴミを減らし空気をきれいにすることだけを目標にしてもあまり意味がないと思います。日本は世界の先進国なので他の多くの国よりも資源やエネルギーを多く消費する生活をしています。先日埼玉新聞で、埼玉県民は全国平均よりもゴミを多く輩出していることを知りました。生活の無駄を一つ一つ確認していく必要があります。</p>	<p>市では、年度ごとに「上尾市環境年次報告書」を作成し、毎年度、事業や指標の進捗を確認しており、本計画においては、そうしたデータも活用しながら改定しています。ご意見のとおり、今後も適宜事業等の進捗を確認したうえで、より効果的な施策を実施できるよう取り組んでまいります。</p>

21	概要版	概要版	<p>進捗（現状）、成果、目標などの具体的な結果や定量的なデータが記載されていませんが、本編にある重要な数値をのせられませんか。計画について具体的にイメージしやすいと思います。</p> <p>紙面のスペースの都合で、各数値・詳細の記載が難しいのであれば、概要に記載されている目標や施策が、本編の何ページに記載されているかを示すなどしてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見を参考に、計画の概要や目標、指標等、本編に記載されている重要な情報を抜粋した概要版を作成いたしました。</p>
----	-----	-----	---	---